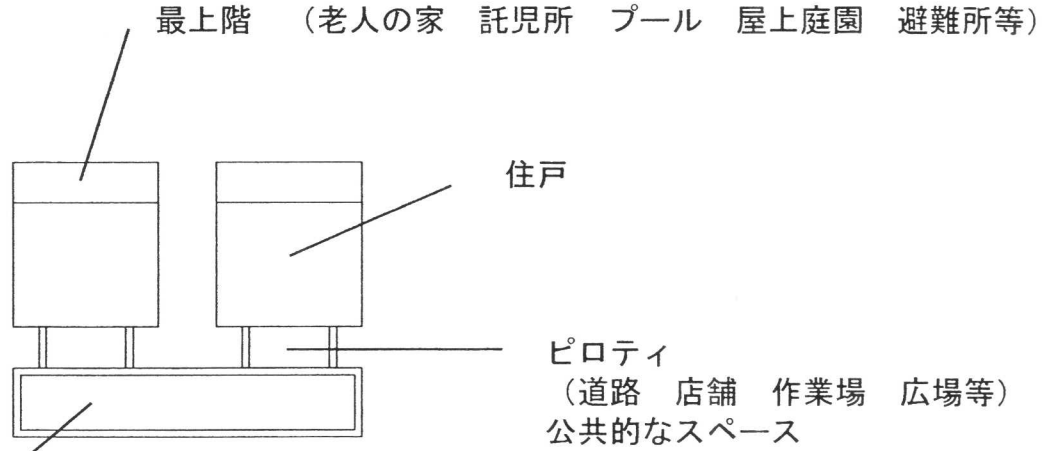


氾濫に順応する都市システムの提案

(断面計画例)

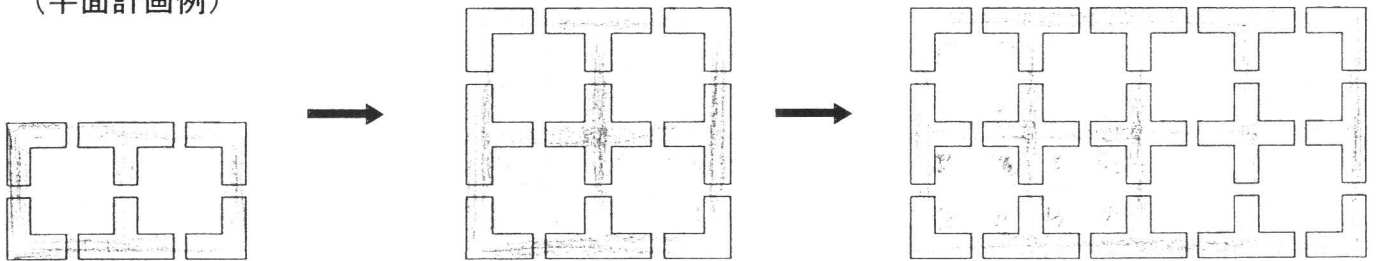


中空の基壇

かさ上げ 築堤 貯水を兼ねる
 免震装置 分散型インフラ (排水処理、バイオマス貯留、発酵、
 コージェネレーション、燃料電池等) は貯水用として空けてあるスペースに
 実用化され次第組み込んでいく

断面方向に機能を分節し、水平方向にはそれぞれの機能をネットワーク化させる
 どこを切ってもいろんなネタ (機能) がある巻寿司のようなイメージ

(平面計画例)



都市の耐水化と氾濫原の再生を同時に行なう

河川の沖積作用に逆らわずに土地を作ってもらう

周囲の環境や流域の状況に合わせて段階的、順応的に計画する

要素に多能性を持たせる

地域の環境容量を確保しその場所に基づいた
 多様なバイオマスの循環による営みを形成する

この提案は氾濫原にある都市の再生を目指すもので
 氾濫原への新たな開発を意図するものではない